

質問
父が徳島市内で抗がん剤治療を受けていますが、医師からは体力的にも継続できないと言われています。自宅がある県西部で緩和ケアを受けられる病院はありますか。

県西部の緩和ケア



寺嶋 吉保

県立三好病院
がん診療支援センター長

回答

県内のどこに住んでいても、充実した医療を受けられる体制づくりが進んでいます。県西部でも、多くの病院や診療所が緩和ケアに取り組み、患者のニーズに応えられるように努めています。

県立三好病院は2015年4月に厚生労働省から「地域がん診療病院」に指定され、地域のがん治療の中核を担っています。院内に「がん相談支援センター」を設置し、専門研修を受けた相談員が、三好病院以外の患者や家族、地域の介護専門職らの相談にも応じています。がん患者の勉強会や出前講座、がん登録なども行っていますので気軽に利用してください。

また、2014年8月に新高層棟が完成し、県西部で初めて在宅緩和ケア病棟を開設しました。これまでに年間100人以上が利用

患者の受け入れ体制整う



し、緩和ケアの専門外来も設けています。

かかりつけの医師と連携しながら、在宅療養の支援に力を入れています。疼痛が強まったときは短期間の入院を受け入れ、症状を緩和して再び自宅で過ごせるようになります。安心して在宅療養を続けてもらうため、症状が急に変化したときの緊急入院にも対応します。短期間の入院を繰り返しながら、自宅療養を長く続けている患者もいます。在宅療養が困難な人は、ゆつくりと入院して、外出や外泊もできます。

緩和ケア病棟は、通常なら約40人分の病棟スペースに、個室20室と広いラウンジ2カ所、キッチンや家族室を備えています。吉野川や山々の眺望が素晴らしい、穏やかに過ごせる環境です。

三好病院は、県西部で初

めて放射線治療装置を導入しました。従来の手術や抗がん剤治療に放射線治療が加わったことで、県西部でも「がん3大治療（手術・薬物・放射線）」と緩和ケアを含む「フルセットのがん医療」が可能になりました。緩和ケア病棟で十分に痛みを取りながら、症状緩和に有効な放射線治療を併用できることは患者にとって大変有益です。放射線治療だけの短期間の入院も受けられています。

県西部で在宅緩和ケアに対応している21の医療機関は、徳島がん対策センター

のホームページにある「がん診療機関スピード検索」から探すことができます。治療を受けている病院の医師や地域連携担当者、地元のかかりつけ医師らと相談しながら、希望にあった病院を見つけてください。
(第4土曜掲載)

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
〈電088(634)6442〉

(平日午前
8時半から
午後5時
まで)



県西部で初めて開設された県立三好病院の緩和ケア病棟(同病院提供)

勉強会や出前講座も